



J R C 活動

◇ JRC活動というものがあります。JRCとは、青少年赤十字のことで、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、日常生活の中での実践活動を通じて、いのちと健康を大切に、地域社会や世界のために奉仕し、世界の人びととの友好親善の精神を育成することを目的として、さまざまな活動を学校教育の中で展開しているものです。平成29年度、山口県内では、65校の小学校が加盟しています。

青少年赤十字では、先に述べた目的を達成するために、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げ、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。

◇ 私は、下関の名池小学校に勤務したとき、初めてこの活動について知りました。この学校に赴任した時、校長先生から「この学校はJRCに加盟しているが、補助金をもらうことが目的になってしまっている」ことが学校課題の1つだと言われました。実際に「青少年活動加盟校校長研修会」では、「JRC加盟校は着実に増えつつある。しかし、JRC活動の精神を生かした実践というものが少ない」という報告がなされました。

◇ 平成20年3月から実施されている現在の学習指導要領の基本的なねらいは、特色ある教育活動の展開と、子ども達が自ら学び、考える力の育成です。よく見てみると、この青少年赤十字の実践目標や態度目標、指導理念は、このねらいと結びついているのだと気付きました。特に、態度目標である「気づき」「考え」「実行する」は、子どもたちの生活づくりを視野に入れた時、ぴったり位置づくと思います。

「気づき」

自分たちの身のまわりにある課題に気付くことからすべてがスタートします。「ここにこういうものがあるといいのになぁ」「この時間の使い方はおかしいよね」などのように、自分たちの身のまわりを見つめ直して、おかしいぞ、変だなと思う事を出し合うことから始めます。

「考え」

課題に気付いたら、その課題を解決するためにどうしたらいいかを考えます。この時、友だちと協力し合って知恵を出し合うということも大事なことです。できるだけ、具体的な方法を考え出していければいいですね。

「実行する」

計画ができたなら実行あるのみです。ここでも協力というパワーが力を発揮します。子どもたちが本気で実行しようとした時のパワーは、それは素晴らしいものです。ここに指導者として本気で関わっていけたらいいですね。

◇ JRCの考え方は、もし今、いろいろな子どもたちの活動が滞っているとしたら、そのカンフル剤にできるのではないのでしょうか。